

グラフでみる加工食品の 生産・販売・外食等の指標



目次

< グラフでみる "コロナショック"からの再生 >

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

< 今月のトピック >

- ・ 2020年度マクロ統計からみたコロナショック
- ・ 加工食品の物価上昇について



1. 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。

ここでは、加工食品の調査対象のうち、特に今般の新型コロナウイルス感染症の影響が大きい品目の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。

なお、詳細は、<https://www.fmric.or.jp/stat/index.html>

「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

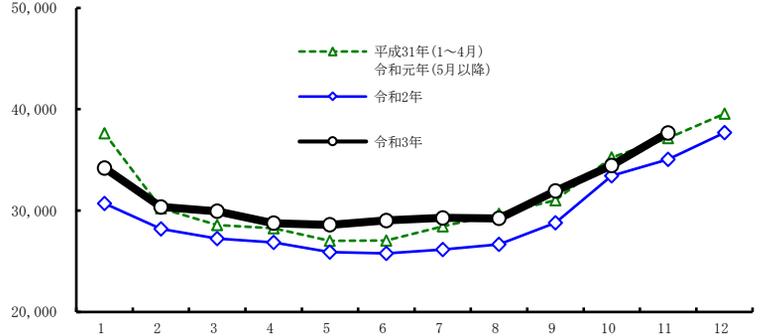
○ かまぼこ類

生産量 対前年同月比

11月 7.4% 増加

対前々年同月比 1.3% 増加

(t) かまぼこ類(ちくわ除く) 生産量の推移



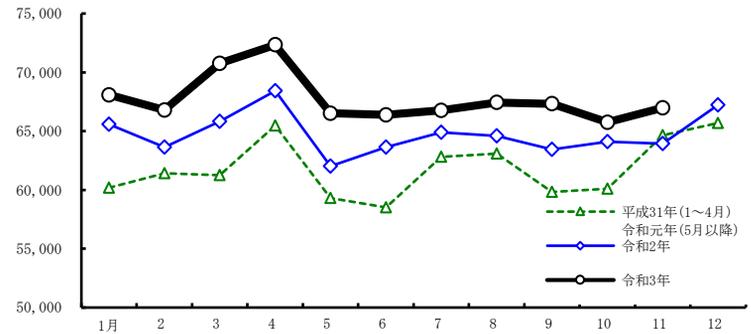
○ 漬物

生産量 対前年同月比

11月 4.8% 増加

対前々年同月比 3.6% 増加

(t) 漬物 生産量の推移



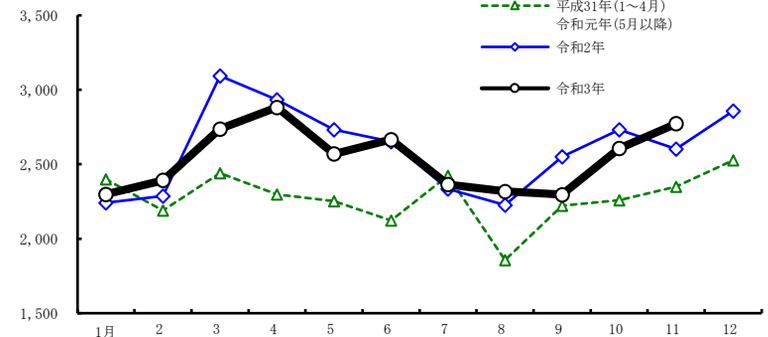
○ 新規米粉

生産量 対前年同月比

11月 6.6% 増加

対前々年同月比 18.0% 増加

(t) 新規米粉 生産量の推移



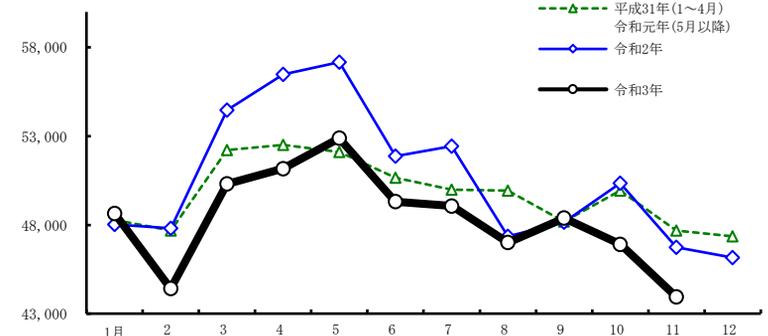
○ 食パン

小麦粉使用量 対前年同月比

11月 6.0% 減少

対前々年同月比 7.9% 減少

(t) 食パン 小麦粉使用量の推移



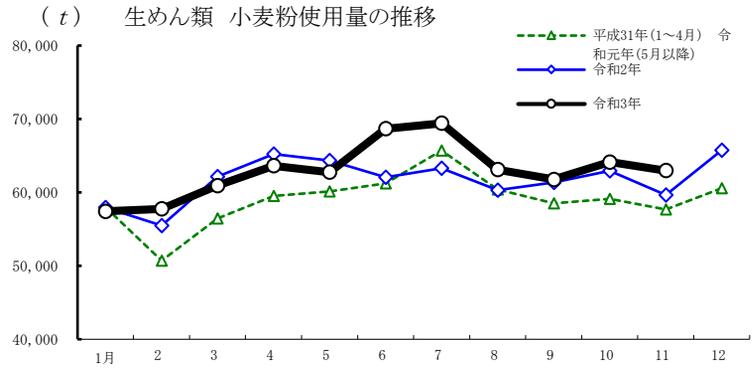
1. 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

11月 5.6% 増加

対前々年同月比 9.2% 増加

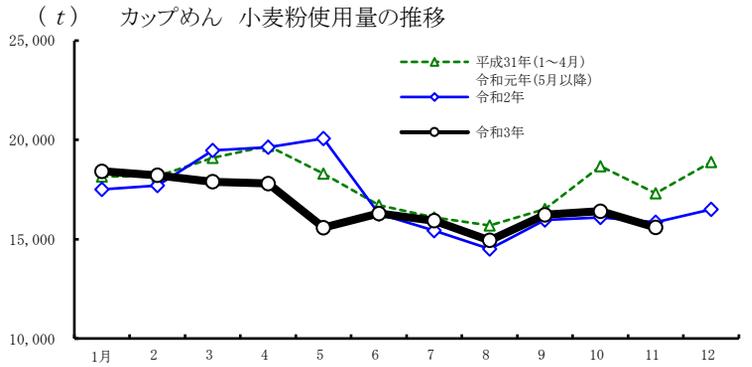


○ 即席カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比

11月 1.7% 減少

対前々年同月比 10.0% 減少

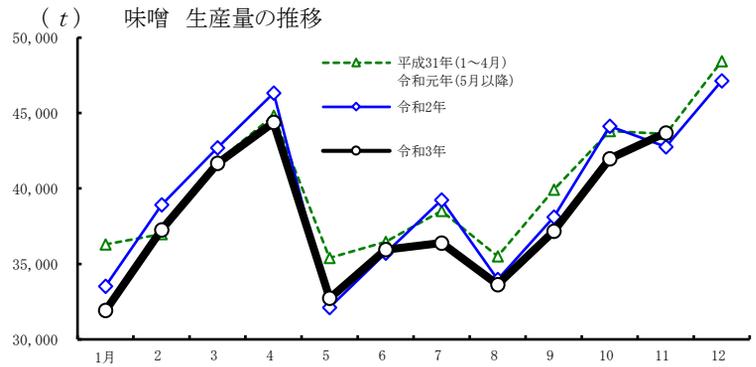


○ 味噌

生産量 対前年同月比

11月 2.1% 増加

対前々年同月比 0.2% 増加

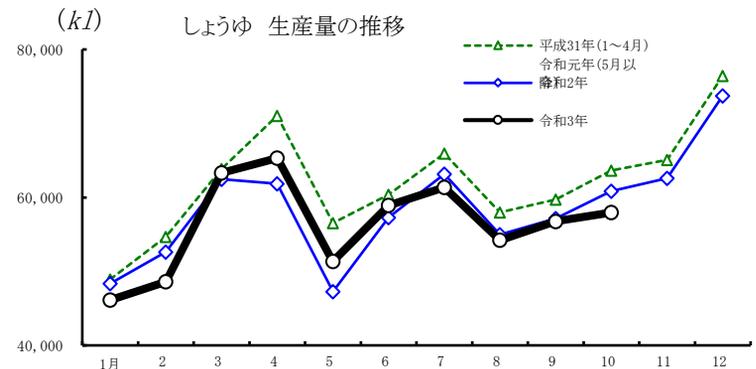


○ しょうゆ

生産量 対前年同月比

10月 4.8% 減少

対前々年同月比 8.9% 減少



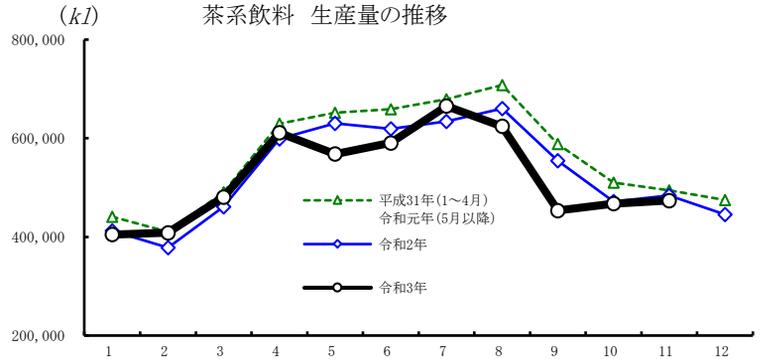
1. 加工食品の生産動向 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ 茶系飲料

生産量 対前年同月比

11月 2.2% 減少

対前々年同月比 4.2% 減少

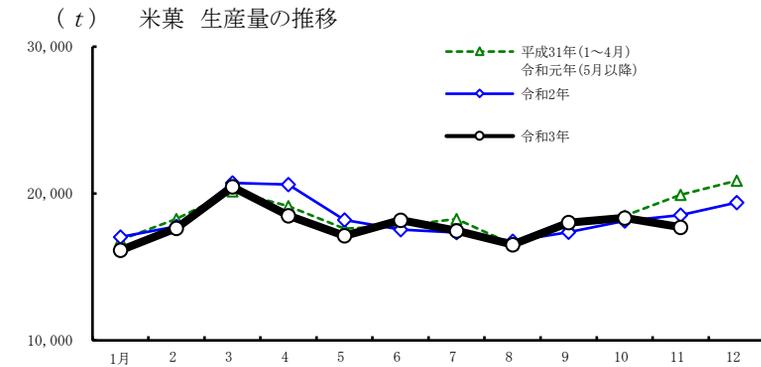


○ 米菓

生産量 対前年同月比

11月 4.5% 減少

対前々年同月比 11.1% 減少

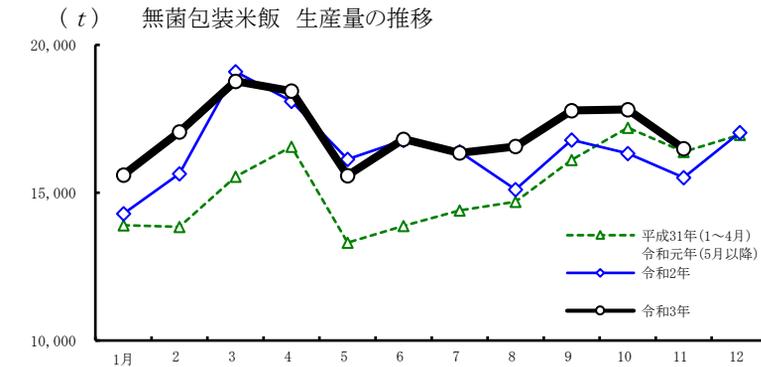


○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

11月 6.3% 増加

対前々年同月比 0.6% 増加

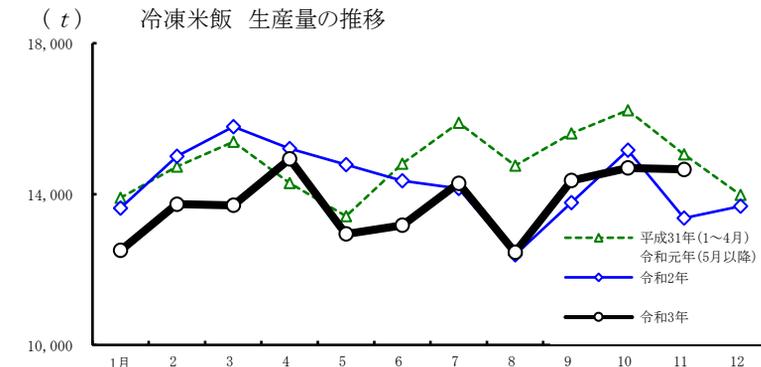


○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

11月 9.6% 増加

対前々年同月比 2.6% 減少



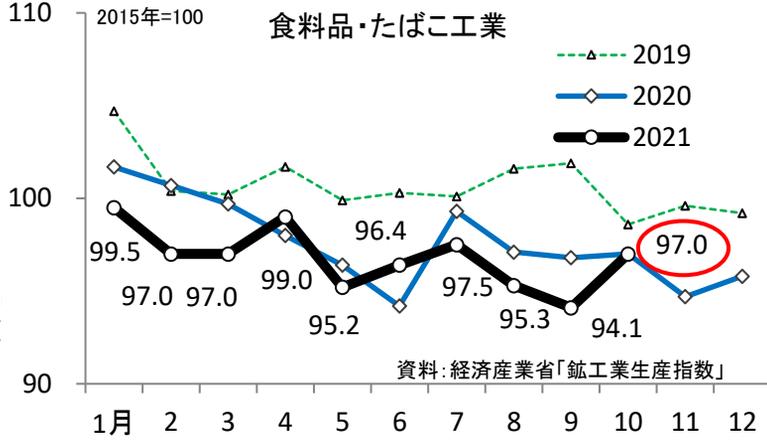
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

10月 0.0% 前年並

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。



2. 食品卸売業・食品小売業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

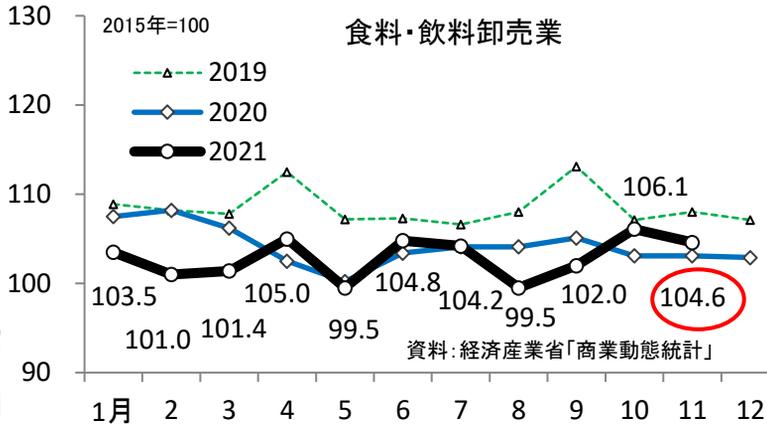
○ 食料・飲料卸売業

売上高 対前年同月比

11月 1.5% 増加

対前々年同月比 3.1% 減少

経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別(スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高(月次速報)について、みることができます。

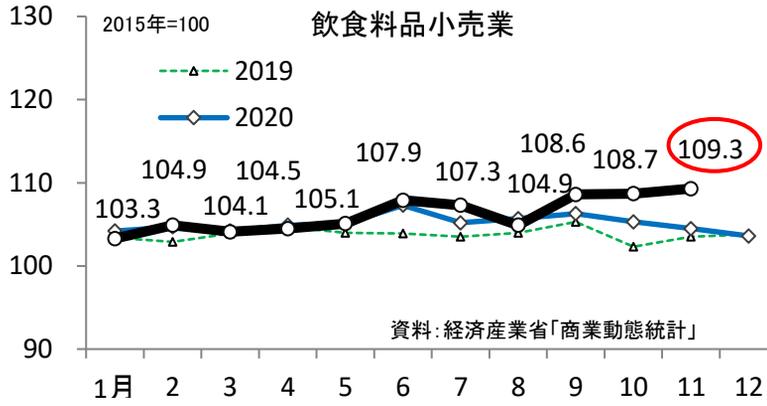


○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

11月 4.6% 増加

対前々年同月比 5.6% 増加

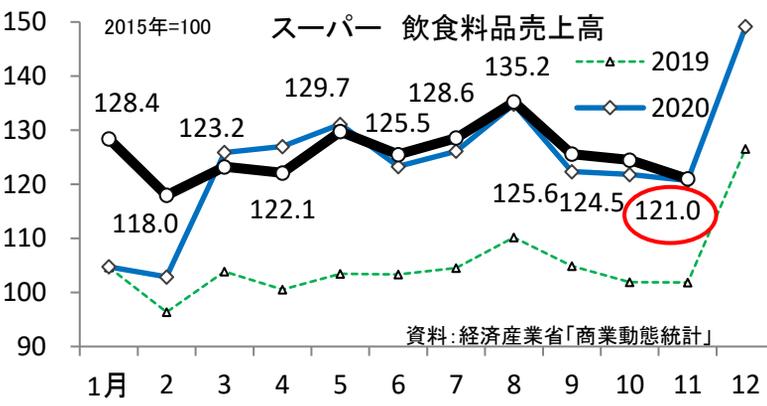


○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

11月 0.3% 増加

対前々年同月比 18.8% 増加



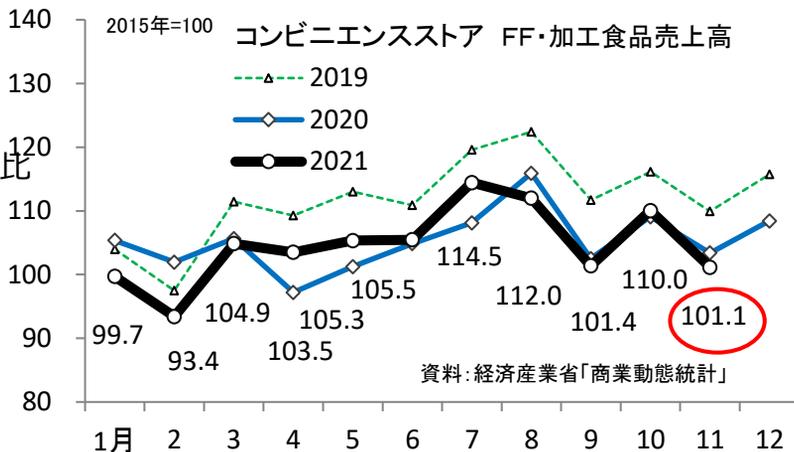
2. 食品卸売業・食品小売業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比

11月 **2.2% 減少**

対前々年同月比 **8.0% 減少**

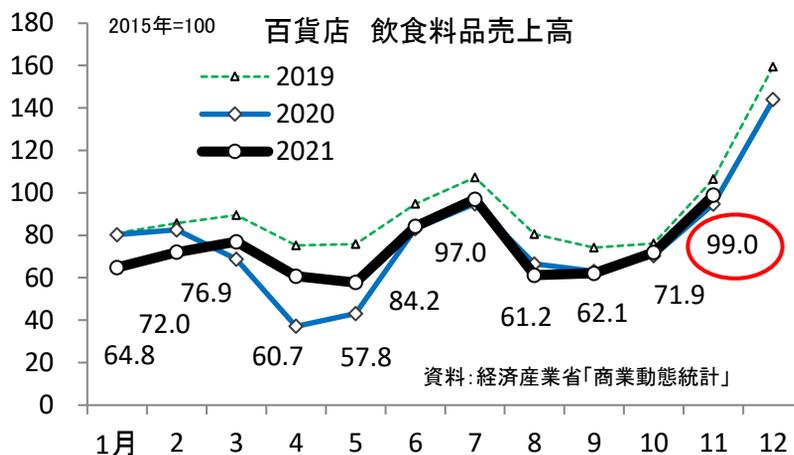


○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比

11月 **4.5% 増加**

対前々年同月比 **7.1% 減少**



3. 外食産業 <グラフでみる"コロナショック"からの再生>

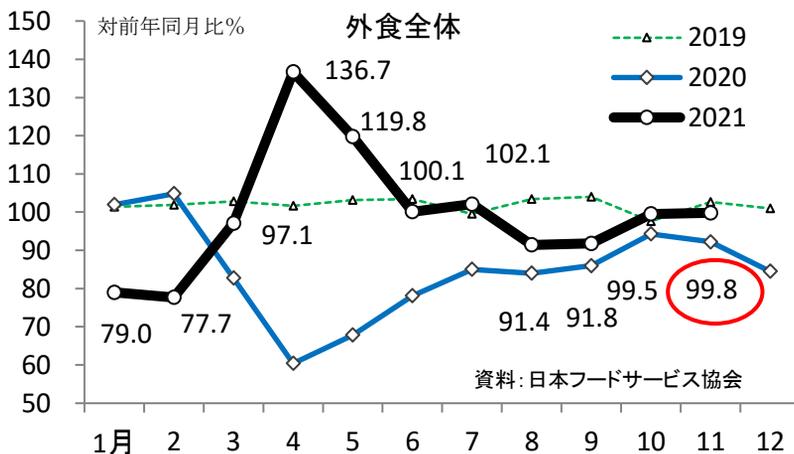
一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。

○ 外食全体

全店売上高 対前年同月比

11月 **0.2% 減少**

対前々年同月比 **8.0% 減少**

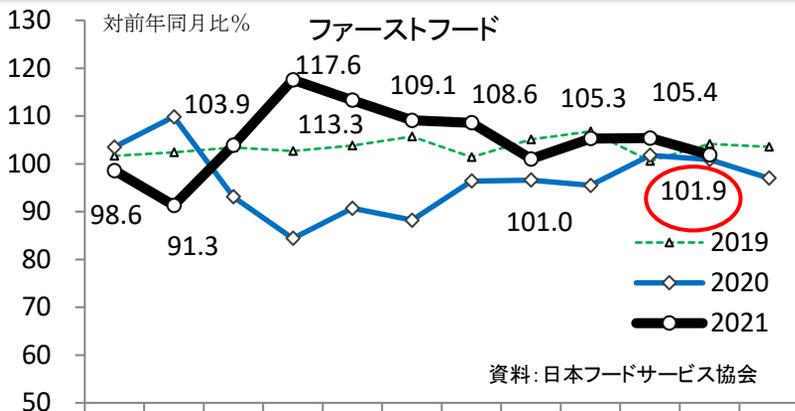


○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比

11月 1.9% 増加

対前々年同月比 2.8% 増加

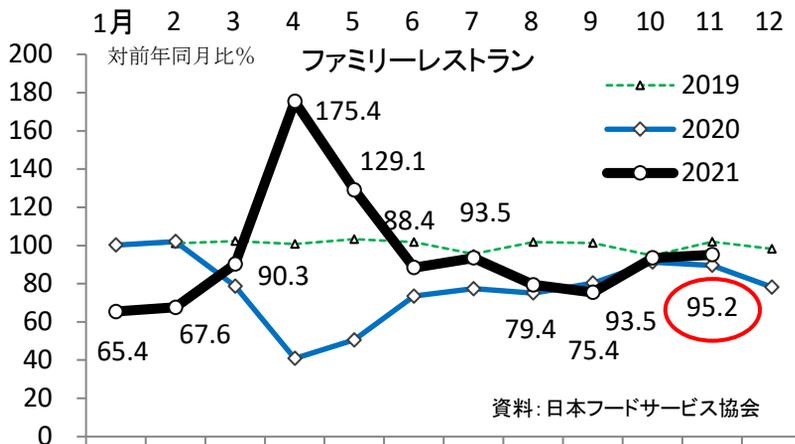


○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比

11月 4.8% 減少

対前々年同月比 14.7% 減少

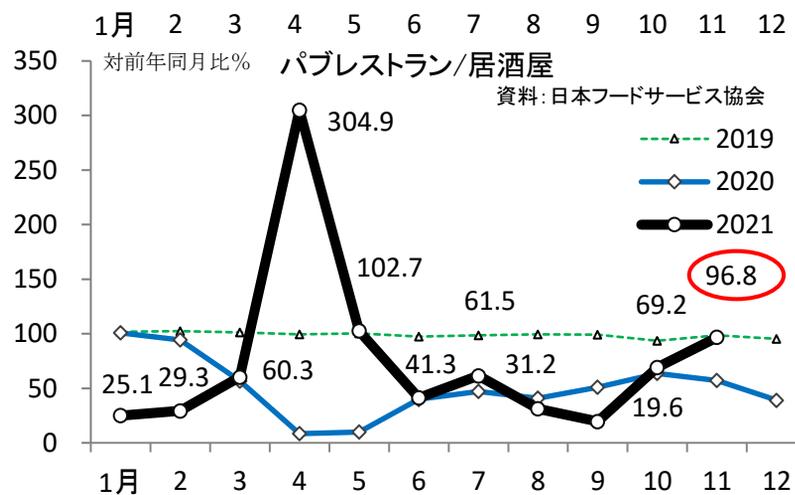


○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比

11月 3.2% 減少

対前々年同月比 44.5% 減少

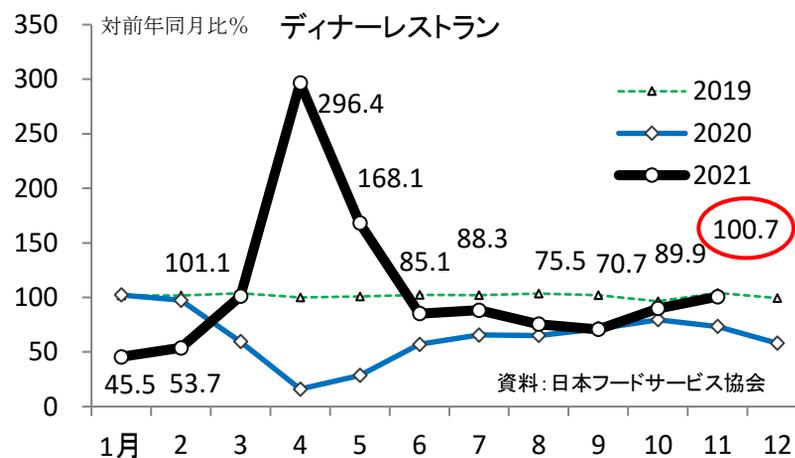


○ デイナーレストラン

全店売上高 対前年同月比

11月 0.7% 増加

対前々年同月比 26.1% 減少



3. 外食産業

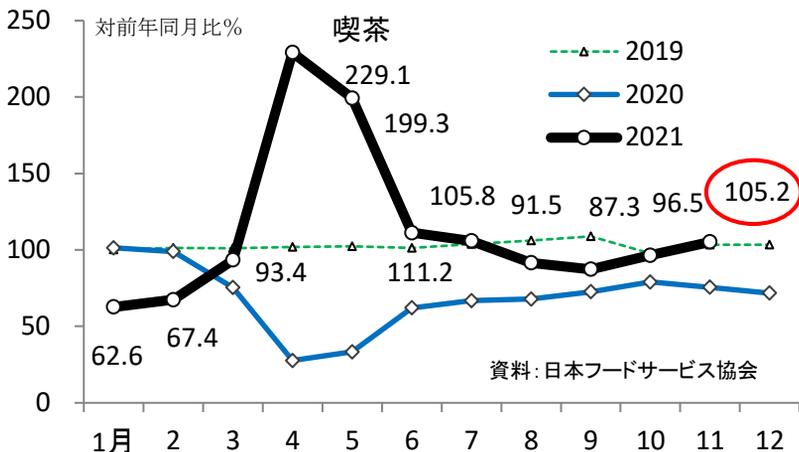
〈グラフでみる"コロナショック"からの再生〉

○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比

11月 5.2% 増加

対前々年同月比 **20.6% 減少**



4. 食料品の物価

○ 企業物価指数

企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2015年）の価格を100として、指数化したもの。

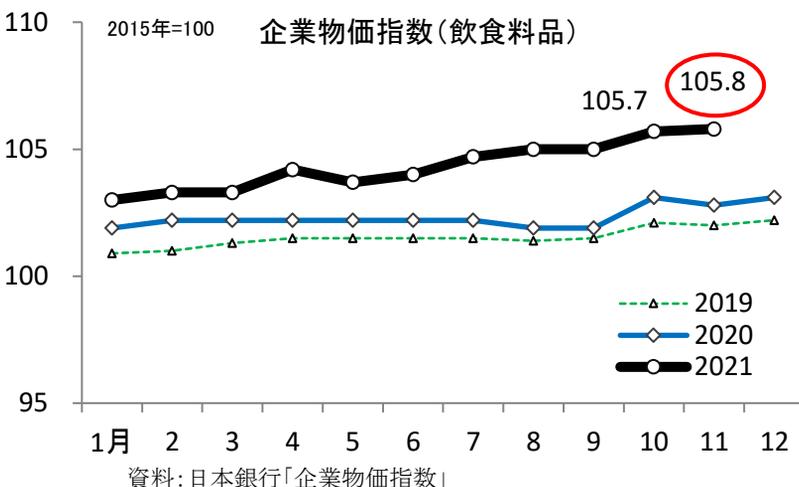
このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

○ 企業物価指数 （飲食料品）

飲食料品 対前年同月比

11月 2.9% 上昇



○ 消費者物価指数

消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

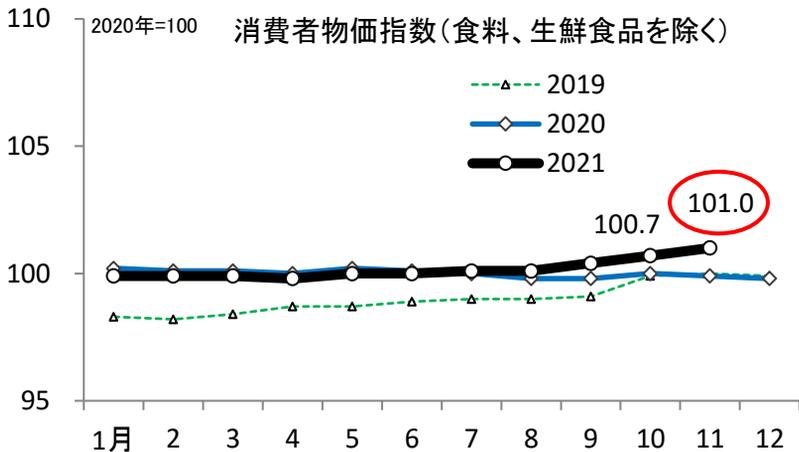
このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

○ 消費者物価指数 （食料（生鮮食品除く））

食料 対前年同月比

11月 1.1% 上昇



< 今月のトピック > - 2020年度マクロ統計からみたコロナショック -

- ・2020年度（2020年4月～2021年3月）における日本経済についてみると、家計消費支出（名目）は対前年度比▲6.4%、財貨・サービス輸出額（名目）は同▲12.0%と悪化したものの、GDP（名目）は、政府の経済対策等から、同▲3.9%にとどまった。
- ・スーパーの飲食料品販売額は、対前年度比18.2%と大幅増加であったが、百貨店やコンビニエンスストアは減少となった。
- ・外食チェーン売上高は、対前年比▲15.1%と大幅に減少した。ファーストフードを除き、ほとんどの業態で大きな打撃となった。

マクロ統計等	2020年度 前年度比 (%)
GDP（名目）	▲3.9% 第一四半期は前年同期比で▲8.9%
・民間最終消費支出（名目）	▲5.9%、第一四半期同▲10.7%
・家計消費支出（名目）	▲6.4%、第一四半期同▲11.3%
・財貨・サービスの輸出（名目）	▲12.0%、第一四半期同▲25.5%
景気動向指数	4月、5月同▲21.3%、▲27.8
消費総合指数	4月、5月同▲13.5%、▲15.1%
総雇用所得	5月、6月同▲3.3%、▲3.2%
家計調査消費支出額	▲5.2%、5月前年同月比で▲16.2%
・家計調査食料品支出額（外食除く）	▲0.3%、4月同▲6.9%
・家計調査外食支出額（一般外食）	▲32.1%、4月同▲66.0%
・家計調査米支出額	▲0.3%
・家計調査パン支出額	▲2.3%
・家計調査焼肉店支出額	▲22.3%、4月同▲76.0%
・家計調査ハンバーガー店支出額	13.6%、5月同41.4%
スーパー飲食料品販売額	18.2%、4、5月同26.3%、26.8%
百貨店飲食料品販売額	▲15.8%、4月同▲50.7%
コンビニエンスストア飲食料品販売額	▲6.9%、4月同▲11.1%
外食売上高	▲15.1%、4月同▲39.6%
・ファーストフード売上高	▲3.7%、4月同▲15.6%
・ファミリーレストラン売上高	▲22.4%、4月同▲59.1%
・焼肉チェーン売上高	▲10.9%、4月同▲69.1%
・パブレストラン/居酒屋売上高	▲49.5%、4月同▲91.4%
・ディナーレストラン売上高	▲35.7%、4月同▲84.0%
・喫茶売上高	▲31.0%、4月同▲72.4%

資料：内閣府「国民経済計算」、総務省「家計調査」、経済産業省「商業動態統計」、日本フードサービス協会

注：外食売上高は年次データ

< 今月のトピック > -加工食品の物価上昇について-

- ・企業物価のうち、飲食料品は、食品企業等が販売する加工食品の卸売価格である。消費者物価の上昇率を下回って推移したが、2020年末から上昇局面となった。特に2021年8月以降は対前年月比で3%前後の上昇となっている。異常気象や新型コロナウイルス感染症パンデミックによる需給変動などから、原料の穀物、魚介類、食肉など農林水産物が高騰し、加えて物流費、人件費の上昇が要因とみられる。
- ・前年増減率をみると、平常時は消費者物価に対して、企業物価は抑制されて推移しているが、企業物価の上昇局面では、消費者物価は抑制されており、価格転嫁が難しい状況がうかがえる。

